

# 緑樹

10月号

発行者  
清川村立緑中学校  
発行者責任者  
市川 美紀子  
ホームページアドレス  
<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/>

## 抜き打ち避難訓練実施 〜より実践的な訓練へ向けて〜

防災意識を高めるため、本校ではより実践的な避難訓練に挑戦しました。災害は突然起こることから、避難訓練実施日を生徒や職員に知らせずに行いました。  
九月九日(月)の昼休みに突然、非常ベルが校内に鳴り響いた。生徒だけでなく職員も一瞬戸惑いましたが、すぐに行動に移り整然と校庭に整列しました。その後、学校長より「先方の指示で行動するのではなく、自らの身は自らで守るように日頃より備えてほしい。」と話があり、生徒達は真



剣に聞いていました。今回の訓練を通して、生徒のみならず職員も非常時に対応する心構えが身に着きました。今後も抜き打ちの避難訓練を行い、より災害に強い学校作りを目指していきます。

## こころの授業 〜自分自身を知る視点の提供〜

九月十七日(火)六校時、スクールカウンセラーの山下純平先生が「自分自身を知る視点の提供」というテーマで、こころの授業を行いました。「命や心って何だろう。」という問いかけから「自分のことをより知ろう。」という内容で全校を十一グループに分け、ワークシートを活用してグル



ープワークを行いました。アイテム(川↓山↓田↓道など)をイメージして描き、自分の心の風景面を作成しました。この授業の第二回目は、一月二十八日(火)に予定しています。

## 「いのち」を大切にすることを 実践より半年が経過〜

本校では県より委託を受け「いのち」を大切にすることをはぐくむ教育の研究を進めて

います。本校の研究テーマは「自分を知り、自他の承認を通して自己肯定感を高める工夫」です。まず第一に、朝の会で美徳カードピックです。一日一人、順番で五十二の美徳カードを引きその内容を読み上げ、その美徳を発揮できるように一日意識して生活する。美徳カードは人としての良さを五十二にまとめ、例えば「尊敬」「感謝」などがあります。生徒も自分や友人の美徳を承認(認め合い)することで心の成長につながっています。次に、内省の時間です。午後二時になると合図のチャイムが鳴り、生徒はすべての行動を止めて、一分間静寂の中、今日の美徳について振り返ります。騒いでいてもけんか中でも自己内省し、自らを振り返ります。



二学期を迎えた六十七人の子も達は、夏休み期間の充電よろしく、たくましさを増したように感じています。  
三年生は、以前にも増して背中やる気を背負ってでもいるような頼もしさです。物事への理解も確実に進んでいきます。ですから、話をしている人も面白いですね。人の言わんとして

## 「根っこは太く」

学校長 市川美紀子

二学期を迎えた六十七人の子も達は、夏休み期間の充電よろしく、たくましさを増したように感じています。  
三年生は、以前にも増して背中やる気を背負ってでもいるような頼もしさです。物事への理解も確実に進んでいきます。ですから、話をしている人も面白いですね。人の言わんとして

隣の花を育てることは子育て。隣の先輩のクラスは溢れるばかりに花をつけ、担任として子ども達に申し訳なさを感じたことを今でも覚えています。原因は実に単純なことでした。たつぷりまいだと思っていた水は、花や葉にかかっていただけで、根っこまで届いていなかったのです。更に、枯れた花を丁寧に摘み取ることもできていなかったのです。「花を育てることは子育て

と一緒だよ。」と、先輩から助言され、根っこを丈夫に育てるということと学校教育における子どもの育ちについて、深く考えるようになりました。さんさんと降り注ぐ太陽の光も大切、適度な水やりも大切、傷んだ花や葉を取り除くことも大切。教員仲間と意見を交した中で辿り着いたのは、子どもの状態をよく観るということ、そして、心から愛でるということでした。心が弱っている子にはとこ



とん寄り添う。人は信頼感を得た時、勇気が出るものです。自律心を養わせたい子には、時として厳しい言葉で伝えることもあります。いずれの場合も、子ども達の気づきを促すものです。  
緑中学校は、一人ひとりの太い根っこを育てるための支援を、ご家庭と共に根気よく続けてまいります。感謝

